

イタリアの精神科医療改革を知ろう！

日時：2008年10月16日（木）

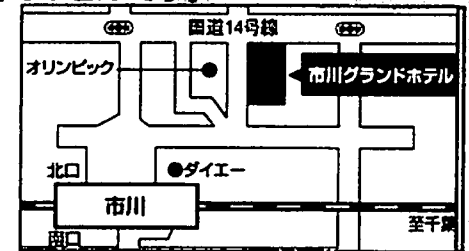
・17：30 開場
・18：00 ～ 21：00 講演会

場所：市川グランドホテル 6F 芙蓉の間

JR総武線 市川駅北口より徒歩3分

※ JR総武線市川駅北口より直進、和菓子屋島村を国道14号線沿いに右折、150mほど進みますと見えてくるオリンピックとTSUTAYAの先にある10階建てのビルです。

会費：一般 1,500円 当事者・ご家族 500円



演者： ・大熊一夫氏
ジャーナリスト。

「ルポ・精神病棟」で知られる方です。

「イタリア精神保健改革の父」と称えられる精神科医、フランコ・バザリアの名を冠した「バザリア学術賞」の第1回受賞者となりました。今回のイベントは、この受賞がきっかけになっています。

・マリア=グラツィア・ジャンニケッタ氏

社会学者。現在は、バザリア財団の理事長を務める。サルデーニャ州・サッサリ大学教授で、専門は「法と精神医学」。家族会問題や司法精神病院問題の権威です。

ジャンニケッタ氏は1970年代、かのトリエステのサンジョヴァンニ病院で、イタリア精神保健改革の祖フランコ・バザリアに一番近いところで働いていました。あだ名は「バザリアの娘」。イタリア精神保健改革の生き字引です。精神病院を廃止する法律180号法が1978年に成立した後、イタリア全土に家族会を組織し、180号法をなくそうとする勢力に立ち向かいました。

主催：NPO法人リカバリーサポートセンターACTIPS、NPO法人NECST

共催：NPO法人地域精神保健福祉機構 COMHBO

お問い合わせ先：NPO法人NECST事務局（担当：武田）☎047-320-0150

